

朝酌人推協だより

朝酌地域人権教育推進協議会



身近な人権問題

朝酌地域人権教育推進協議会

会 長 神 門 眞 澄

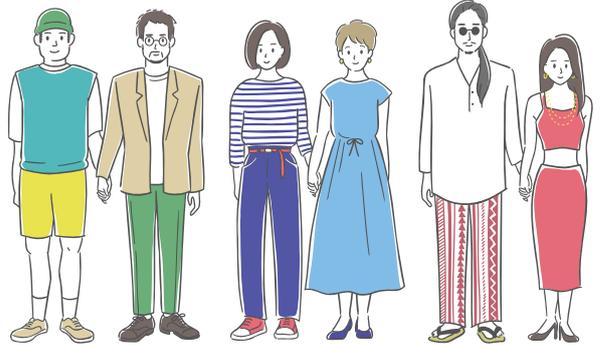
朝酌地域人権教育推進協議会の事業活動につきましては、ご協力、ご支援をいただき、ありがとうございます。

令和五年度は、例年どおり松江市や島根県主催の研修会、講演会等に参加し人権に関する実情、課題、問題点等について学習し、理解を深めることができました。主たる内容は、パートナーシップ制度、性の多様性(同性カップルの問題等)でした。

次に、朝酌地域人権教育推進協議会の事業活動として十月二十八日、公民館において人権教育研修会を開催しました。松江市人権男女共同参画課の教育指導講師高橋恒夫氏に「暮らしの中の人権〜最近の話題(インターネット、子ども、性の多様性から考える〜)」と題して講演をし



ていただきました。その中で性の多様性についての話は、アップツーデートな問題であり性のあり方について、偏見、誤解、先入観に基づく精神的苦痛を与える言動には、十分注意をしなければならぬことを身近な問題として深く認識しました。内容は、非常に具体的で、理解しやすく大変いい勉強になりました。性の多様性の問題は、対応の必要



性が急がれる課題であると思えます。

LGBTをはじめ性的少数者は、性的指向、性自認という理由で、教育、結婚、医療、公的サービス等社会生活において、差別的あるいは侮辱的扱いを受けているのが現状です。同じ人間である以上、平等に扱われなければなりません。

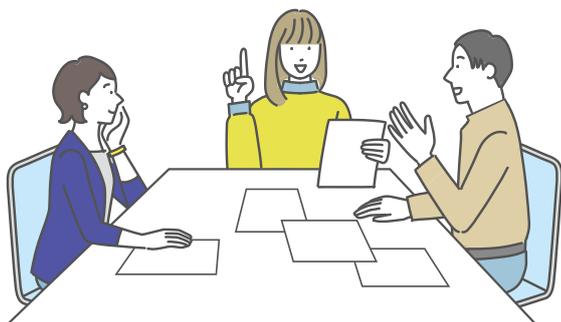
我々としては、性的少数者の平等に向けた知識やどのような活動がなされているかを知ることが誰もが生きやすい社会づくりの上で重要であると考えます。

私たちの周囲には多様な人権問題

が存在しており、しかも複雑化、複合化しています。人権は、差別や侵害を受けている人たちだけの問題ではなく、私達の身近なところで起こっております。

朝酌人推協としましては、それぞれが価値観、立場、能力の違いを認め、お互いが人権を尊重し合う優しい町づくりを目標に今後とも取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様方のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

最後に、人権問題で一番大切なことは、「実情を知る事」です。その一つとして機会があれば研修会、講演会等に進んで参加され、理解を深めていただくことを切に願っております。





多様性を大切にするためには、どうすればいいの？

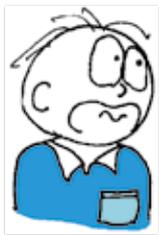
松江市民部人権男女共同参画課 教育指導講師 高橋恒夫



① まずは、相手の話を否定せずに、聞くことだね。受けとめることだよ。

テーマ「〇〇について考える」

◆ ◆ 私、
だと思
う。



ふーん。
なるほ
どね。



そう
なんだ。



◆ ◆ 私
はね、
だと思
う。

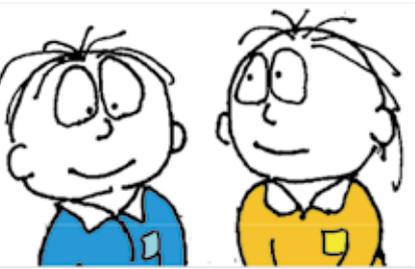


常識や従来の枠組みの中で、相手の言葉を評価しないことです。「それは違う」「こうすべきだ」と否定して、自分の価値観で見ないことです。



② 次に対話を通して、相手の背景を知ることも大切です。

背景



背景



相手の言葉の背景にある物語に想像力を働かせることです。その人が育ってきた環境や文化、歩んできたキャリアなどを知ることによって、異なるものを受け入れて、新たな価値観を創ることが大事ですね。

朝酌地域人権教育推進協議会

「研修会」に参加して

野津和夫

講師の高橋先生は元小学校の先生で、初任校がここ朝酌小学校との事でした。当時、小学校は公民館の上の地（元エルメック工場跡地）にありまして、大きな古墳があったことや二十五mのプールがあったことなどを懐かしく語っておられました。



研修会では、最近問題になってい
ますインターネット上での中傷問題、
家庭内や保育所等での児童虐待の問題、
性の多様性の問題等々、新聞紙
上やテレビニュース等で報道され国
民が関心を寄せていることについて
取り上げられました。一つ一つの事例
を新聞記事やテレビ等の録画や自ら
の資料などを交え、分かりやすく丁寧
にお話されました。その中で先生
は「あなたにとって『くさび』の役割
をするものは何ですか？」と問われ
ました。性の多様性の問題について
の場面でしたが、幼い頃より両親
から「男らしく」と言われ続けてい
ましたから、これまでもあまり問題視
はしていませんでした。しかし、今日
の社会では今までの観念を改め、お
互いの人権を認め合って生きていか
なければならぬことを感じました。
この問題のほか、日常の生活の中で
人権の問題に出会った時、具体的に
何をどのようにすべきだろうかと、
思いながら話を聞いていました。

同時に「人権とは」何かとも思
いました。平成十一年、人権擁護推
進審議会はその答申で「人々が生存
と自由を確保し、それぞれの幸福を
追求する権利」としています。分か
りやすく言えば、一人一人が生まれ
ながらにして持っている「自分らし
く生きる」権利のことで、「誰からも
侵される事の無い基本的なもので、
現在だけで無く将来にわたっても保
障される」ことによつてです。



このように基本的な事柄を今一度
確認したり、研修会に進んで出席し
たりして様々な人権問題について正
しく理解すると共に、身近にある人
権問題に気づき自分の事として考
え、行動出来るような態度を身に付
ける事が大切であると思いました。



人権教育の 取り組み紹介

朝酌小学校

人権標語

人権週間にあわせて、児童全員が家の人と相談をしながら「人権標語」を作りました。それらは、授業公開日に教室等に掲示され、人権感覚を高めました。各学年の代表標語は次の通りです。

あいさつで なかよしの わをひろげよう	(1年)
考えよう あい手の気持ち わたしの気持ち	(2年)
つながるよ あい手の気持ち わたしの気持ち	(3年)
見つけよう みんなのちがい 宝もの	(4年)
気づいてる その子のかわりは だれもない	(5年)
認めよう ちがいや個性 お互いに	(6年)

人権集会「いじめについて考えよう」

集会委員会による「いじめについて考えよう」が、9月20日に行われました。児童作文をもとにした朗読劇で、「いじめをしない、いじめを許さない」といったところが朗読劇の中で強く訴えられていました。作文の朗読も大変上手で、心に残る集会となりました。



人権授業公開日

全クラスが、「人権」に関する授業を公開しました。

車いす体験

3年生が、「車いす体験」をしました。松江市社会福祉協議会より5名の方に来ていただき、車いすを見かけたときの心構え、その取り扱い方法などを丁寧に説明していただきました。子どもたちは、車いすの操作に苦戦しながらも、がんばっていました。



夢未来塾

5・6年が将来の仕事について考えました。講師にトヨタカローラから来ていただき、なぜ仕事をするのか、仕事に対してのやりがいや誇りなどの講義を受け、そこから自分の将来の仕事について考えていきました。一人一人がしっかりと考えた、心に残るものでした。

幼稚園との交流会

1年生と朝酌幼稚園が交流をしました。幼稚園の「わくわくはうす」、1年生の「あさくみランド」にそれぞれ訪問し合いました。「あさくみランド」では、ドングリやクリなどを使って、おもちゃを作成し、一緒に楽しく遊びました。1年生、園児共々、それぞれの笑顔があふれるとてもほほえましい交流でした。

